

山口の観光客を増やすために
山口とクリスマスのつながりをいかした町おこし



研修の様子①

飯田 悠禾(いいだ はるか)
山口県立山口高等学校 1年

山口の観光客を増やすために

山口とクリスマスのつながりをいかした町おこし

飯田 悠禾



研修の様子②

活動概要

活動の内容

インターネットや本を利用して山口市とクリスマスのつながりや歴史、他県はどのようなクリスマスイベントが行われているのか、高校生が主体となって企画・運営したイベントの例などについての情報収集。

アンケート(県内・県外どちらも対象)の作成・実施→山口市に対する印象、どのようなイベントが求められているのか

活動の特徴(新規性・発展性)

これまでの情報発信の方法であれば、自ら山口について調べをせずに情報はみつからない場合も多く、山口県に来たいと思う人を増やすことができないと感じたため、年齢層に応じたタグなどを活用して情報発信を行っていく。また、高校生が主体となって行うイベントはこれまでなく、新たな視点からイベントを企画することでより観光客の需要に応じたイベントにすることができる。

活動の成果

県外の人やこれまであまり山口に対して興味がなかった人たちにも情報が届くようにし、観光客を増やす第一歩として山口を知るきっかけをつくることができる。その後、「クリスマス発祥の地」という他県との違いをいかしたイベントを行ったりすることで、山口を訪れる機会を提供する。また、観光客の人だけでなく、山口の人も住んでいるからこそこの環境に慣れてしまっているが、山口の歴史を知り魅力を再発見することができる。

課題の設定と意図

アンケートや情報収集を通して、「なぜ山口の観光客は増加しないのか」「どのようなイベントが求められているのか」「どのような情報発信の仕方が多くの人に届くのか」を明らかにし、「クリスマス発祥の地」という大きな強みをもっている山口の観光客増加につなげる。

「クリスマス」という世界共通の行事との関わりがあるということは、県外だけでなく国外からの観光客増加も期待できるため、この強みをどうアピールしていくかで山口の観光客を増加させることができ、地元の活性化につなげられるのではないかと考えたから。

課題解決のための仮説と計画

多くの人々が利用するSNSを利用して積極的に情報発信を行い、「クリスマス発祥の地」という山口の魅力の認知度を高めることで観光客増加につながるのではないかと。

まず、これまで実際に行われてきたクリスマスイベントや山口とクリスマスの関わりについて本やインターネットで情報収集を行う。また、他県の町おこしの成功例やSNSの活用の仕方の事例についても調べ、山口の現状と比較する。その後、アンケートフォームを作成・アンケートを実施し、どのくらいの人に山口とクリスマスの関わりを知ってもらえているのか、どのようなイベントが求められているのかを分析する。そして、その結果をもとに情報発信を行う。



研修の様子③



研修の様子④

活動で工夫できたこと

情報収集を行う際には、インターネット、本など様々なものを利用して情報を集めて、比較的新しく、正確な情報を集められるように意識し、それを詳しく分析するようにした。
アンケートの作成では、回答時間ができるだけかからないように選択式のものも多くして、より多くの人に回答してもらえるように工夫した。



研修の様子◎

活動で得た学び・気づき

今回の活動を通して、人とのつながりの重要性を感じた。アンケートをしたりするにも多くの人の協力があったからこそ、山口の観光客が少ない原因をより正確なものとしていくことができ、自分一人では気づくことのできなかった課題もあると思った。そして、様々な立場の人(学生、社会人、県外に住んでいるなど)の意見を聞くことができ、意見が偏ることがないようにすることがとても大切だと考えた。また、得られた情報を詳しく分析することも必要だと感じた。たくさんの情報があつまっても、それを分析しなくては観光客が増えない原因を探ることはできない。得られた情報と今後対象となる観光客の状況などを踏まえながら、山口ならではの独自性も持たせていくことができると思う。

今後の展望・新たな取組み

自分の住んでいる地域だからその環境が当たり前と感じてしまうし、他の都市と比べて劣っていると感じてしまうが、改めて客観的な視点から見ても大切だと思った。ただ地元の観光客を増やしたいと思うだけでなく、なぜ観光客が少ないのか原因を明らかにしていくことで、これまでは見えてこなかった課題もみつけるのではないかと考えた。常に自分の周りの環境に目を向け、毎日それが新鮮だと思えるようにしていくことで課題を発見し、原因を分析し、解決していきたいと思った。今後、今回の探究を経て得られた情報などをもとにイベントを企画し、運営していきたい。2024年にはニューヨークタイムズ紙の「2024年に行くべき52か所」に選ばれるなど、少しずつではあるが山口の魅力を知られてもらえる機会も増えてきていると思う。そのため、他県・国外の人々にも良さが伝わりやすいようなイベントにしたいと思う。そして、それをきっかけにクリスマスシーズンでなくても山口を訪れたいと思ってもらえるような環境にしていきたい。

実践活動時の動画や成果物等

動画URL	二次元コード	添付PDF なし

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中国
---------	---	---------	----	------	----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立山口徳地青少年自然の家	修了日	2025/6/6	カリキュラムのタイプ	B
フィールドワークの内容					
実践活動期間	2025/6/7 ~ 2025/11/10				
活動のタイプ	新たな活動				
共同実施者	無				
協力者		主な協力者	協力内容		
	所属				
	氏名				
	所属				
	氏名				
	所属				
協力者総数	1名		協力団体数	団体	

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全7日

事前:準備・打合せ	3日	本番:メインの活動	3日	事後:ふりかえり・報告	1日
-----------	----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/1 ~ 11/10	①事前学習・打合せ等	学校	情報収集・アンケートフォーム作成・アンケート実施